

文献センター通信

第 11 号
2009 年 8 月 10 日
一部 100 円

主な内容

夏の富士宮交流会
久板卯之助の墓碑を訪ねる
藤本文庫・目録 4
運営委員会議事録(抄) 5
カレンダー予約受付中 6
..... 7
..... 8
..... 2
..... 1

2005年7月の第1回富士宮集会では、アナキズム文献センターの未来について話し合いが行われました。06年の京都での春の集会を挟み、毎年7月(第3回は9月)に静岡・富士宮市の「ふもとの家」にて開催してきた『富士宮交流会』を今回は8月29・30日に開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。

昨年12月には、東京で第1回のアナキズム文献センター総会を開きました。こちらは当文献センターの活動報告や今後の活動方針などを議題にした「至ってまじめ」なものでした。
夏の富士宮交流会は、もう少しだけで会員・支援者の皆さまと

第 5 回 富士宮交流会へのお誘い

親睦を深めるために行うものです。もちろん、お酒を飲むだけではありません。旨い物を食べるだけではありません(写真)。若干の書庫作業も用意しています。イベントとして、故・横倉辰次さんが撮り溜めた8ミリフィルムをビデオ化したものの上映会も行います。それを元にいろいろとお話を伺いたいと思っています。

日時

8月29日(土) 午後2時〜懇親会(1次) 午後6時〜懇親会(2次、横倉さん8ミリ上映会)
8月30日(日) 午前中 書庫作業(掃除・整理など) 昼食後に解散

会場



ホステル ふもとの家

静岡県富士宮市杉田251
申し込み・連絡 Eメール(奥付参照)または電話0904・664・0801(佐藤、交流会の終わるまでは、専用になります。)

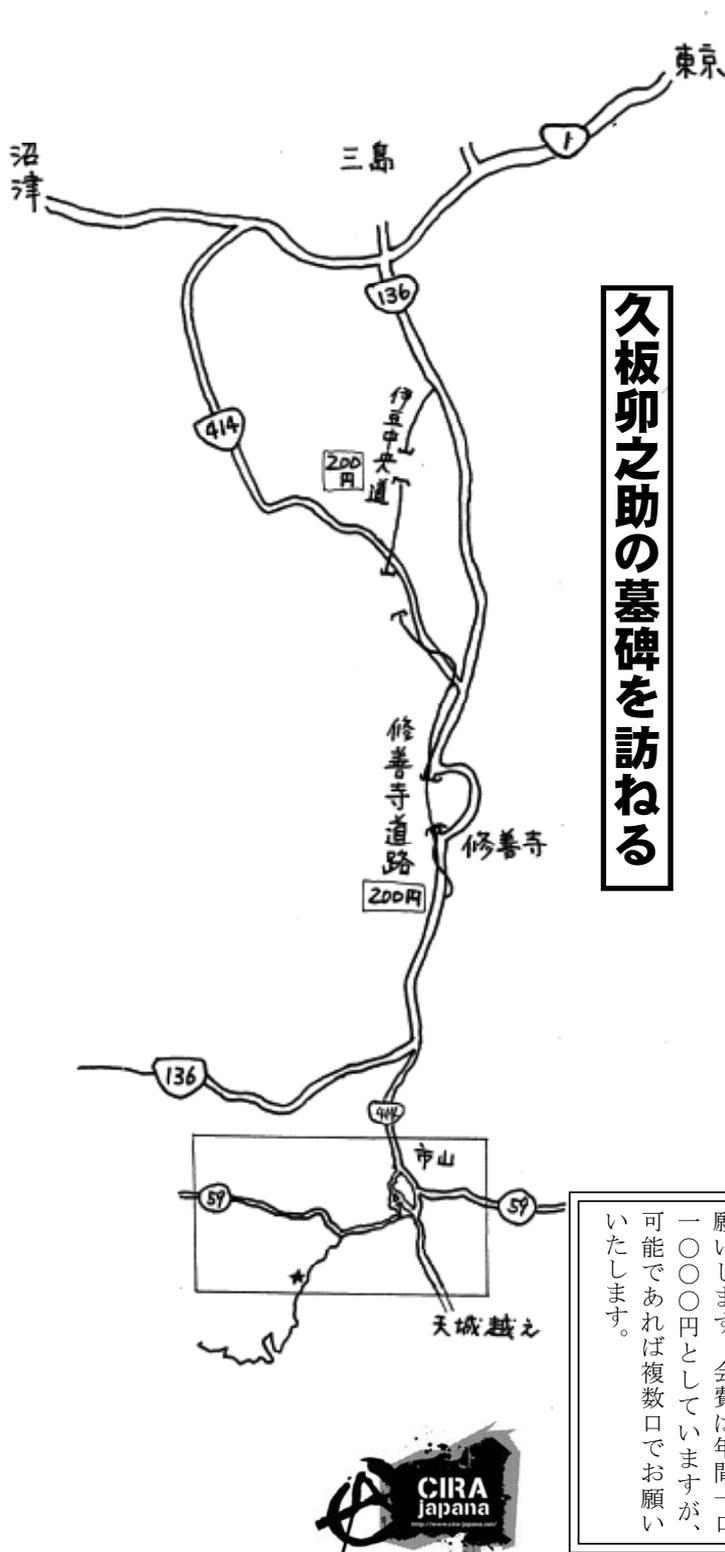
(さ)



第 3 回交流会の食事風景

アクセス ①JR東海道線富士駅北口からバス(曾比奈行き)で、新田橋下車。②JR身延線富士宮駅からバス(曾比奈行き、または吉原中央駅行き)で、富士脳研病院前下車。※富士宮駅までは、JRのほか、高速バスも利用可。③JR身延線入山瀬駅から、徒歩約25〜35分。④当日は、クルマでの送迎も可能です。申し込み・連絡先の携帯電話にて予定を伝えてください。

<http://www.cira-japana.net/>



久板卯之助の墓碑を訪ねる

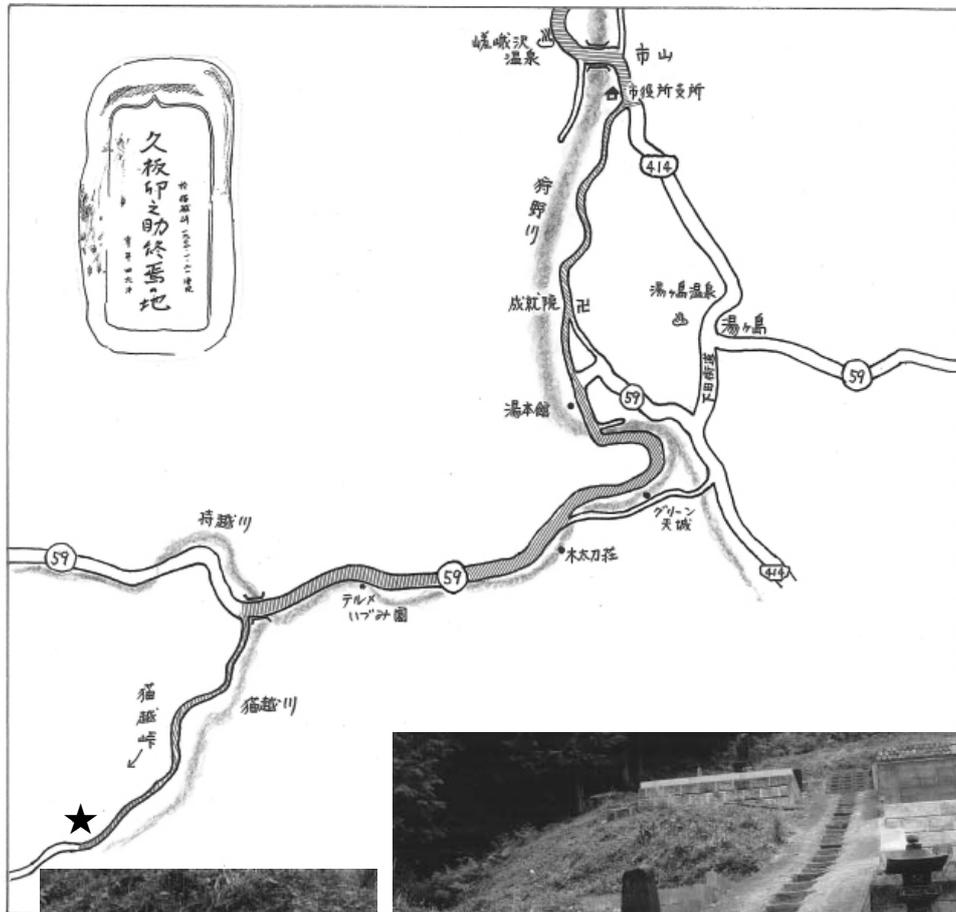
横倉さんの8ミリフィルムから



**アナキズム文献センター
会員を募集！**

文献センターの活動の実質化を図るべく、当面は会員制のもとで活動・体制づくりを進めています。参加を広く呼びかけています。

皆様の積極的な参加をお願いします。会費は年間一口一〇〇〇円とされていますが、可能であれば複数口でお願いいたします。



久板卯之助は、1922年1月21日、伊豆半島へ写生に出かけ、猫越峠を越えて湯ヶ島へ向かう途中、道に迷い、山中で凍死した。



伊豆市

国道414号を南下。狩野川にかかる橋を渡り、市山交差点を過ぎ、すぐの二股を右に入る。道なりにどこまでも進む。狩野川支流・持越川にかかる橋を渡るとすぐT字路にぶつかるので、そこを左折する。しばらく行くと道路の右側、杉木立の中に墓地の入口がある。入口の坂を上がり、墓地の左端へ。狭い登り坂の上を目指して歩けば、すぐにわかる。

- レーニン写真集 レーニン生誕 100 年記念出版 ノーボスチ通信社 (編) 新時代社
- 『赤旗』第一巻 1928・2・1-1931・10・5 非合法時代の日本共産党中央機関紙
 『赤旗』第二巻 1931・10・20-1932・7・2 非合法時代の日本共産党中央機関紙
 『赤旗』第三巻 1932・7・5-1933・6・1 非合法時代の日本共産党中央機関紙
 『赤旗』第四巻 1933・6・6-1936・8・1 非合法時代の日本共産党中央機関紙
 アカハタ本局 (編) 三一書房
- アカハタ縮刷版 1 1961 第一巻第一号
 アカハタ縮刷版 2 1961 第一巻第二号
 アカハタ縮刷版 3 1961 第一巻第三号
 アカハタ縮刷版 4 1961 第一巻第四号
 アカハタ縮刷版 5 1961 第一巻第五号
 アカハタ縮刷版 6 1961 第一巻第六号 日本共産党中央委員会出版部
- 市川房枝「八十七歳の青春」 上映運動の記録 日本婦人有権者同盟
 自由法曹団総会報告・議案書 自由法曹団幹事会
 自由民権百年 自由民権と現代 自由民権百年全国集会実行委員会
 自由民権年表 明治 17 年 (1884) を中心に 正木敬二 (編著) 正木盤
 中山義民伝 浦山高治郎 (作) 浦山美代/清田和夫 (註解) 白い家
 自由民権 村松愛蔵とその予告 柴田良保 白い家
 差別が奪った青春 おれは善枝ちゃんを殺していない
 部落解放研究所 (製作) 木山茂 (劇画) 部落解放研究所
- 世界ノンフィクション全集 15 サッコ=ヴァンゼッティの最期/大逆事件ほか
 ストング, フィル/神崎清他 筑摩書房
- 世界ノンフィクション全集 21 ロシアの夜/友人への手紙/私の半生涯
 フィグネル, ヴェーラ/ルクセンブルク, ローザ/福田英子 筑摩書房
- 城下町「名古屋」と維新の尾張徳川家周辺 名古屋文化史談 第三集 水谷盛光
 名古屋市教育委員会
- 酒 百家百話 随筆特集 池田辰二 (編) 財界名古屋
 無政府主義者は答える 新版 1984 年 岩佐作太郎 黒色戦線社
 平民の鐘 無政府の福音 ベルテロー, ポール 山鹿泰治 (訳) 黒色戦線社
 私の生い立ち 一アナキストの歩み 伊串英治 名古屋市 伊串英治
 大杉栄「労働運動」の思い出 大杉栄 40 周年記念 伊串英治 名古屋市 伊串英治
 赤いつつじの花 金子文子の思い出と歌集 黒色戦線社
- 自由の前触れ 関東大震災七十年・大杉栄・伊藤野枝・橘宗一虐殺記念誌
 大杉栄らの墓前祭実行委員会 大杉栄らの墓前祭実行委員会
 秩父騒動 堺利彦 橘宗一少年の墓碑保存会

(次回に続く)

<http://www.cira-japana.net/>

ローマ字日記	啄木	石川啄木	桑原武夫 (編訳)	岩波書店
妾の半生涯		福田英子		岩波書店
新家庭論		堺利彦		講談社
大井憲太郎と初期社会問題			絲屋寿雄 (編)	青木書店
大正時代の先行者たち		松尾尊允		岩波書店
スペイン現代史		若松隆		岩波書店
幸徳秋水	直接行動論の源流		飛鳥井雅道	中央公論社
日本を震撼させた日染煙突争議			白井新平	啓衆新社
トロツキー選集 1	コミンテルン最初の五ヵ年	上	トロツキー	
			高島健三 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 2	コミンテルン最初の五ヶ年	下	トロツキー	
			三浦正夫 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 3	左翼反対派の綱領		トロツキー	
			救仁郷繁 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 4	レーニン死後の第三インターナショナル			
		トロツキー	対馬忠行 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 5	永続革命論	トロツキー	姫岡玲治 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 6	中国革命論	トロツキー	山西英一 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 7	社会ファシズム論批判	トロツキー		
			徳田準/弥永康夫 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 8	スペイン革命と人民戦線	トロツキー		
			清水幾多郎/沢五郎 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 9	ソヴィエト国家論	トロツキー		
			立川美彦 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 10	第四インターナショナル	トロツキー	大屋史朗 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 11 の 1	文学と革命 I	トロツキー	内村剛介 (訳)	現代思潮社
トロツキー選集 11 の 2	文学と革命 II	トロツキー	内村剛介 (訳)	現代思潮社
武装せる予言者・トロツキー	1879-1921		ドイッチャー, アイザック	
			田中西二郎/橋本福夫/山西英一 (訳)	新潮社
武装せる予言者・トロツキー	1921-1929		ドイッチャー, アイザック	
			田中西二郎/橋本福夫/山西英一 (訳)	新潮社
武装せる予言者・トロツキー	1929-1940		ドイッチャー, アイザック	
			田中西二郎/橋本福夫/山西英一 (訳)	新潮社
トロツキー わが生涯 2		トロツキー		現代思潮社
トロツキー わが生涯 3		トロツキー		現代思潮社

藤本文庫・目録（第6回）

日本婦人運動小史	山川菊栄	大和書房
にんげんをかえせ	峠三吉	風土社
転向再論	鶴見俊輔／鈴木正／いいだもも	平凡社
風見章とその時代	須田禎一	二十日会
一明治人之遺文 天皇制批判を中心に	水田恭太郎 水田浩（編）	
日本の労働歌 増補改訂版	西尾治郎平／矢沢保（編著）	一声社
一九三〇年代日本共産主義運動史論	渡部徹（編）	三一書房
私の見た昭和の思想と文学の五十年 上	小田切秀雄	集英社
私の見た昭和の思想と文学の五十年 下	小田切秀雄	集英社
内藤知周著作集 日本社会主義革命の探求	内藤知周 運動研究所（編）	亜紀書房
『世界』主要論文選 1946-1995 戦後 50 年の現実と日本の選択	『世界』主要論文選編集委員会（編）	岩波書店
由井誓 遺稿・回想		新製作社
遺書 帝銀事件 わが亡きあとに人権は甦えれ	平沢貞通	現代史出版会
私の戦後史	袴田里見	朝日新聞社
早稲田大学 建設者同盟の歴史 大正期のヴ・ナロード運動	建設者同盟史刊行委員会 日本社会党中央本部機関紙局	
覚めよ女たち 赤瀾会の人びと	江刺昭子	大月書店
わたしの「女工哀史」	高井としを	草土文化
あるおんな共産主義者の回想	福永操	れんが書房新社
丹野セツ 革命運動に生きる	山代巴／牧瀬菊枝（編）	勁草書房
日本原爆詩集	大原三八雄／木下順二／堀田善衛（編）	太平出版
わが師わが友	池田辰二	財界名古屋出版部
デスク日記 マスコミと歴史 1963-1964	小和田次郎	みすず書房
続デスク日記 マスコミと歴史 1965	小和田次郎	みすず書房
啄木日記	石川啄木	小田切秀雄（編） 第三文明社
白バラは散らず ドイツの良心 ショール兄妹	ショール, イング 内垣啓一（訳）	未来社
労働放浪監獄より 後藤謙太郎遺稿	後藤謙太郎 宮本三郎	復刻コピー製本
明治女性史 上巻 文明開化	村上信彦	理論社
明治女性史 中巻後編 女の職業	村上信彦	理論社
明治女性史 下巻 愛と解放の胎動	村上信彦	理論社
美は乱調にあり	瀬戸内晴美	角川書店
余白の春	瀬戸内晴美	中央公論社
謀叛論 他六編・日記	徳富健次郎 中野好夫（編）	岩波書店

運営委員会議事録（抄）

【3月運営委員会】

3月21日（土）

の形で開催していきたい、との意見表明があった。

■ホームページについて

サイトに公開している部会は整理し、新たに「書肆データベース部会」「アナキズム年表部会」「デジタルアーカイブ部会」「出版部会」という風にしてはどうだろうかとの提案が。この方向で組み直しをしていくことになった。

■カレンダーについて

サイトに図版の呼びかけ文を掲載してはどうか（註：サイトでの呼びかけは行わなかった。通信10号にて協力の呼びかけを行った）。早く出すに越したことはないが、現実問題として9月中に作業、10月中発行になるかもしれない。

■講座について

アナキズム自由人講座を何らか

【4月運営委員会】

4月18日（土）

■文献センターの表記について

当文献センター通信・奥付などの住所の記載から「三月工房気付」を外し、富士宮の記載は「富士宮書庫」とする。

■Webサイトについて

どんどん情報を追加していく！

【5月運営委員会】

5月23日（土）

原則、第3土曜日に開催していた運営委員会を当月は諸般の事情

から第4土曜日に変更した（註：

変更の告知がなかったために、迷惑をかける可能性もあった）。

■新たなコンテンツについて

ホームページ上で予告していた横倉辰次さん所蔵の8ミリフィルムをビデオ化したもののデジタル変換がとりあえず完了。昔の映像なので、時代・人・集会名など判断できない映像が多々あった。いずれ、公開するときのために作業を続けることとした（註：第5回富士宮交流会で上映会を行います）。

■夏の交流会について

恒例の夏の富士宮交流会を今年も実施する。まず、日時を詰める作業を行う（註：8月29・30日に決定）。同時に、富士宮書庫での作業、交流会の中身を決定していく。

【6月運営委員会】

6月20日（土）

■カレンダーについて

7月中には図版を決定したい（担当委員で進める）。年表については、例えば誰かに絞って表記するのはどうか。今年は石川三四郎にするなど。

■富士宮交流会について

8月29・30日の方向で調整する（決定）。

■M A S Aさんのコンサート

8月9日（日）に文献センター共催（または主催）でジャズサックス奏者M A S Aさんのミニ・コンサートを東京事務所で開催する方向で調整する。なお、今後のイベントとして「大逆事件100年」なども検討してはどうか。

【7月運営委員会】

7月25日（土）

■カレンダーについて

来年が大逆事件100年ということもあり、このテーマでまとめ

ることに決定。

今後のスケジュールは、夏の富士宮交流会でプレゼンテーション、9月中旬あたりで印刷データ入稿、9月中の完成をめざす。

印刷データ入稿以降は、部会委員以外の協力も得て進行する。予算内で作成する。テーマが大逆事

件なので、他の団体にも販売してもらうことなども検討する。

■ 今回のところは売り切りたい！

との決意表明もあった。売価は、1200円で検討（ただし、きちんと原価計算して売価を出す）。

■ 動画のデジタル化について

大杉集会（S16）の動画をデ

ジタル化する。

■ MASAさんのコンサート

コンサートは文献センター共催として決定（※ただし、主要メンバーには事前に確認をとること）。ビデオ撮影も行う。

■ 富士宮交流会について

メインイベントは、上映会（横

倉さん映像）。

■ 次回会合

8月は富士宮交流会があるため、定例会合は休止とした。

※註は佐藤による

2010年版カレンダー

予約受け付けます

来年版のカレンダー制作が進行中です。今回は、2007年版と同じA4判とする予定です。完成は9月中の見込です。

1910年5月、長野県で宮下太吉、同6月、神奈川県で幸徳秋水を逮捕したのを皮切りに弾圧が強化され、同年12月には大審院における公判が開始された。

翌11年1月18日、判決言い渡し、24日に幸徳ら11名、25日に菅野すのぶの死刑が執行された。判決から1週間以内のスピードでの執行であった。

来年は大逆100年に当たる。

先行予約を受け付けます。予定売価1200円としていますが、発売までに変わるかもしれませんが、予約価格は1000円としま

す（ただし、定価が高くなっても変わりません）。

なお、会員の方には完成と同時に1部お送りいたしますので、1部のみ必要な方は予約の必要がございません。また、販売を引き受けてくださる方をご紹介ください。

【注文方法】

- ① 郵便振替（A文献センター口座）にて部数、送り先を記入
- ② 運営委員に直接注文、現金払い

アナキズム文献センター通信

第11号

発行／二〇〇九年八月一〇日

発行所／アナキズム文献センター

編集／運営委員会

連絡先／東京都新宿区新宿

1の30の12

郵便振替口座／

00850-3-30010

口座名 A文献センター

Eメール／

info@cira-japan.net

定価／一部一〇〇円

